

令和3年度第5回丹波市環境審議会

日時：令和4年2月28日（月）

10：00～12：00

場所：氷上住民センター 大会議室

出席委員

足立 正典、坂谷 高義、後藤 和敏、中道 知代子、近藤 明、森本 佳宏、喜井 健二、
梅垣 守明、山科 ゆみ子、三橋 弘宗、三浦 仁志、足立 榮逸

欠席委員

安田 真理、横山 真弓、荻野 良子、足立 はるみ、宮川 五十雄

事務局職員

余田部長、田口課長、荻野係長、村上主事

1. 開会あいさつ

- ・事務局より、委員12名出席により、会議成立の報告

会長：今日は、ずっと審議いただいた第2次丹波市環境基本計画の最終の取りまとめになります。市民の方からもパブリックコメントをいただいていますので、その内容も踏まえ、最後ですが、より良い基本計画を作成するために、皆様方の忌憚のないご意見を聞かせていただければと思います。よろしくお願いいたします。

- ・事務局より、今後のスケジュールについて説明

2. 協議・報告

（1）第2次丹波市環境基本計画の見直しについて

- ・事務局より、資料の説明

（質疑応答）

会長：案に対して、修正がかかるのはどの部分か。

事務局：案を変えるのは、3番、4番、5番、16番、21番、22番、24番、30番、32番になる。

委員：3番の氷上回廊特有の生態系の記載については、確認させていただきたい。正しくない部分が混じっているのので、最新の研究を踏まえて書かせていただきたい。4番の雪国という表現については正しくない。雪国というより、日本列島の形成の歴史に関係することで、雪が多かっただけなので、日本海側と表現するのが正しい言い方になる。雪がないところにも、アブラハヤやホトケドジョウはいっぱいいる。東京都町田市にもホトケドジョウがいる。環境基本計画の中では誤解を招かない表現に、慎重な書き方をしてもらいたい。

5 番の森林整備や環境創造型農業の推進、公共用水域の保全の言葉を追加すると説明していたが、何のことかよく分からないので、下水処理や浄化槽のことを指しているのであれば、それが分かるような言葉を丁寧に書いた方が、質問者の意図を反映しているのではないかと思います。ネコに関しては、全般的に個別のことは書かないというスタンスでいく方が良いと思う。

25 番でゴミ分別アプリのことが書いてあるが、せっかく作ったのであれば、ダウンロード数という、お金をかけずに KPI となるものがあるので、どれぐらい増えたかを数値目標として入れても良いのではないかと思います。改定するタイミングがあれば、そういう書き方をすれば良いのではないかと思います。

それと 28 番と 35 番、28 番が化学物質や農薬、その他の薬品の問題で、35 番が太陽光発電や景観の問題になっている。どちらもアンケートで非常に関心が高い項目で、県にも問い合わせがすごく多い案件である。書き方として、県条例に従ってやっているという書き方が適切ではないかと思います。無理に、バランスを考えてとか書いてあるが、これだけで字数をかなり消費している。兵庫県で太陽光発電の条例がしっかり整備されているので、県の条例等も踏まえてというところを書くことで、明確になるのではないかと思います。全般的に見ると、国や県の法律に言及しているところが計画にはあまりないので、どう考えたら良いか。

兵庫県の太陽光に関しては、かなり厳しい形で制約がかかっている所以、そこは出しても良いと思う。また、農薬に関しても、基本的に法律やルールがあるので、それに従っていますというのが基本だと思う。市で判断できるものではないので、質問に対しては一定の法令で解決していると書くのが適切ではないかと思う。

32 番、地球温暖化のとらえ方の説明が正しくないと思う。気候変動は数十年かそれよりも長い期間で既に起こっている。国の流域治水の一括条例では数十年と書いていなくて、昨今ゲリラ豪雨が起きていると書いてある。国の法律と丹波市の見解が違ってしまうので、表現は上手にした方が良いと思う。ただし、地球温暖化ということで今まで政策が進んでいた背景もあるので、気候変動をより一般的な用語にして、何か整合を付けられる表現にした方が良いと思う。市の考え方のところが適切ではないと思う。

用語は指摘の通りで、議会でも課題になっているゴミ袋に関しては、環境とは違うという理解であれば、それははっきりと書いた方が良い。環境基本計画に、ゴミ袋のところをどこまで入れるのかという基本的な考え方によって回答が決まると思うので、どういうスタンスなのかを教えてください。

会長：資料 1 が一般に公開されるものになるのであれば、市の考え方の書き方も少し考えないといけないと思う。

委員：計画に寄せなくても、公開資料では、県の条例や国の規則に従って対応していますと書けば良い。そうすると本文には反映しない。

事務局：農薬のことに関しては、規制法があるので、本来はそれに従って認めているところがあるので、市の回答としない方が良いのではないかということは同意

する。太陽光については、議会でも相当議論されてきた関係があり、一步進むように指示もいただいているので、丹波市の考えを入れる必要があると考えている。その他、気候変動の考え方は、世界的にも地球温暖化による気候変動に目が向いているので、意見の通り、課題も改めて表現しなければならないと思う。表現については、後ほど修正をしていく。

委員：ごみ袋に関しては、計画ではどういう位置づけなのか。ネコと同じ扱いなのか。どう捉える問題なのかの強弱が分からないので、それで回答がぶっきらぼうだと、あまり良い印象を受けないと思う。考え方だけ教えてもらいたい。

事務局：ごみ袋の半額化は、家計の軽減を目指しているもので、ごみの減量化を求めているものではない。それを契機として減量化を進めなければならないということではない。これは議会でも明確に説明を申し上げたところで、半額化については明確にこちらの方針を示すものではないが、ごみの減量化は環境に係る。減量化は進める必要があるので、減量化のみに答えていきたいと思っている。私達のアナウンスが弱かった部分があるが、市民も、こういう捉え方をしている場合もあるので、その点は明確にしていきたいと思う。

委員：その部分を回答で明確に書いて、見た人が、環境に関してはごみを減らす活動が重要だと分かる回答を、丁寧に書いた方が誤解はないと思う。

太陽光に関しては、私は県の環境審議会のメンバーで条例の対策に関わっているが、これ以上ない程厳しい条例になっている。そこの整合について、考え方のところについては相談いただければ、良い表現ができると思う。

気候変動については色々なところで言われている。今まで地球温暖化という言葉で活動してきたが、急に言葉が変わると市民も混乱するので、その旨を書いて、地球温暖化という政策をしているが、これは気候変動全体への政策であり、ゲリラ豪雨にも注意するというような市の考え方の政策を書いて、その上で地球温暖化を使うと誤解がない形になるのではないかと思う。

会長：県とか国の条例も少し踏まえつつ、丹波市の独自の見解も入れながらまとめていただく形で良いか。

委員：幸か不幸か、国の影響評価法の改正と県の改正の両方に関わって詳しくなったので、少しは貢献できると思う。相談してもらいたい。

事務局：雪国の生き物の表現についても、相談させていただければと思う。

委員：日本海側と書けば大丈夫だと思う。

会長：私も雪国という言葉は少し引っかかっていたが、確かに日本海側とした方が明確だと思う。

委員：法令で豪雪の方があから、それに引っ張られて書いたように思う。

会長：用語集もあると思うが、言葉が出てきたところに注釈で書かれるのか。それとも後ろに、専門用語集としてまとめて記載する書き方になるのか。

課長：用語が出てきたところに記載する。以前の会議でも指摘いただいたが、分かりづらい部分については、コラムや注釈で補足を入れたいと思う。一般的でない言葉については、その表現のある近くには表示したいと思う。

会長：脚注みたいな形にすると良いと思うが、出典の URL 等も書ければ、逆にそれだけでも良いような気もする。

委員：気候変動のカーボンニュートラルに関する記載が非常に少ない印象を受ける。他自治体の計画を見ると、民生部門、家庭部門の二酸化炭素の排出割合とか、森林による吸収量とかの数字や対策が出ているが、この計画では気候変動もあっさりしている。これを変える必要はないとしても、将来、カーボンニュートラルや温暖化計画が出てきた時に、リニューアルするつもりで考えていただいた方が良いと思う。この記述が弱いと、国の交付金の申請を出した時に、計画に定めていないということで予算が採択されないリスクがある。それに対応するための記載事項や必要事項、特に国が定めているカーボンニュートラルの計画等との整合は付けた方が良いと思う。

事務局：これについては調べる材料がまだ少ない。これから森林整備を行うことで、どれぐらいのCO₂を削減や吸収できるか、有機農法に取り組んで有機肥料を使うことで、土中に炭素をどれだけ蓄積できるか、そういうものを具体的に示すことで、皆さんの取組でどれぐらい環境保全ができるかということをも市民の皆さんにも知らせる必要があると思う。また、活動する方が実体験としてそれを認識することも必要だと考えるので、今後、数字が取れるものについて、皆さんに発信していきたいと思っている。まずは森林整備や、森が持つ蓄積機能、ごみの減量化によって、どれぐらい削減できるのかを出していきたいと思う。

委員：丹波市では森林吸収量を入れて、少し減らせば、かなりカーボンニュートラルに近い形になって、何もしなくても丹波市もやっていると言えるポテンシャルがあるのでもったいないという印象がある。ぜひお願いしたい。

事務局：J クレジットとか発行できるような体制であれば、すぐ計算できると思う。

委員：J クレジットは高い。このルールを兵庫県独自で設定して、安い値段で自治体ができるように改修することが施策的にも重要なので、1 番の回答は大変良いと思う。はい、やりますと言うのは、恐らくペイできない。

会長：森林の場合は既に蓄積されているので、要はそれを強調した方が、今から植えるよりも、既にこれだけあるということで、逆に無くなるとどれだけ減るかというような視点でアピールした方が良いような気がする。そうすると、すごくポテンシャルが大きくなると思う。

委員：30 ページ、遊休農地が出ているが、令和元年から令和 2 年で倍以上になっているという理由づけが、近隣よりも農作業が大きく遅れている農地や例年と比較して管理が悪くなっている農地を指導対象に含めたためと捉えられる。実際はそうでなくて、いわゆる耕作放棄地、1 年以上ではなくても雑草が大きく伸びている農地をカウントしただけのことで、耕作をやめる人、若い方でも農業に魅力がないということでやめる人が増えてきているという事実がある。この書き方をすると、それが隠されてしまって、意図的に増やしたような印象になるが、そうではなくて、作る人がいなくなって増えてきている。近年、すごく米も下落があったので、それで放棄される方もすごく多い。担い手の育成が大事だというこ

とを表に出そうと思えば、この部分は若干書き換える必要があるのではないかなと思う。

それともう1点、70ページ、学校給食への地元産農産物の使用として割合が挙がっているが、大概の学校給食は教育の一環と聞いている。そうすると、環境的に考えると、有機農産物がこれだけ使われていると理解されるが、48ページの一番下には農地では環境に配慮した農業生産活動とある。里地里山を生かした環境型社会の実現の部分を持ってきて、有機農産物だけではないという部分ではないかなと思う。

事務局：70ページについて、地元産の材料をできるだけ増やしたい、全部が全部揃えられないということなので、主要な分だけの割合で示している。特殊なものについては、市内全校分の量を同日に集められないという農家の現状もあるので、集めやすい15品目を使用することにしている。市の率先した取組として記載しているので、特に有機の言及はしていない。48ページについては、生物多様性の関係もあり、里地里山の保全というところで、環境を守っていくという観点から書いているが、どちらかにまとめたらという意見か。

委員：70ページにこの部分が出てくると、何の意図があるのか読みにくいと感じる。それであれば、前の方が良いのではないかなと思う。

事務局：70ページで30%として掲げている。本来、農業振興であれば100%を目指すべきだが、丹波市の農産物の流通をみると、ストックが悪く、結局、物が集まらないというところがあるので、30%にしている。ここでは食育のことにも関わる。丹波市ならではのものを学習すること、丹波市でどんなものがあり、どんな食文化が引き継がれてきたのか、丹波市の地場産業の地産地消がどれだけ進んでいるかということとしている。また、有機農法は環境保全をもっと進めていくための有機農業であるので、少し書き分けをしている。

委員：言われること分かるが、これを前に持つてくることで、進めていくにはどうすれば良いかということで、色々な取り組みができると思う。

事務局：30ページについては、パッと見るとどうしてこんなに急に増えたのかと捉えられるという指摘を受けて、理由づけをしているが、適当でないということであれば、具体的にどのようにすれば良いか。

委員：例えば、管理が著しく悪い、管理ができていないということを入れてもらえたら良いと思う。管理ができないのはどうしてかと言うと人手が足りない。それだけ興味が無くなったということも示せるので、管理が著しく悪くなっている農地を指導対象に含めたためとしてもらいたい。1年以上耕作されておらずとなっているが、1年ではなく、管理が著しく悪くなった土地も増えている。雑草が繁茂している土地も含めてカウントしている。

事務局：私の認識としては、あまりにも酷いところは減っていたが、少し酷い程度のもも入れたという意味で捉えていたが、そうではないのか。

委員：あまり厳しく見ると、ものすごく面積が増える。1年に1～2回草刈していれば良いという程度までは下げている。農作業の時期が遅れている部分についても

何も言っていないので、前段の、「近隣よりも農作業の時期が大きく遅れている農地」という部分だけ削除したら問題ないと思う。

事務局：その方が適当ということであれば、修正させていただく。

委員：先程出ていた太陽光の規制について、農業委員会としては、ぜひ市で進めてもらいたい。確かに、県や国も規制はあるが、兵庫県内を見ていると、どこも同じ状況で設置されているわけではない。市で厳しい規制があれば、農業委員会としてもそれに伴って判断ができる。今はそれが無い。書類が整っていて、立地的に農作業上で何も問題がなければ認めざるを得ない。市が規則を持っていれば、それに照らし合わせながら判断できるので、非常にありがたい。ぜひそうしていただきたいと思う。国や県の規則がある上で、市にも規則があっても良いのではないかなと思う。ぜひ早く作っていただきたい。

事務局：現状として、1,000 平米を越えるものについての届出、県の規制はもっと大きい面積だが、市では 1,000 平米以上のものについて、管理者が誰かとか、適正な管理をするように指導をしながら届出を受理しており、全体を把握している。ただ、景観的な部分までの規制はできていないのが現状だと思う。よく問題になるのが維持管理で、機械を設置する時の騒音とかが気になるということで、維持管理の際に問題になっていることは認識している。

委員：景観の部分についても、ある程度盛り込んでいただきたい。私達は、許可する場合、景観のことは何も言えない。だから、市にそういう条例があればと思う。また、1,000 平米以上は確かに届出の義務があるが、業者も賢くて 400 と 600 に分けて 2 つの業者が入って申請している。例えば 2,000 平米でも、3 つの業者が入って上手くくぐり抜けている。そういった部分もしっかりと見ないといけない。防災上の問題も出てくるので、そういうところもよく注意しながら、規則とか規制を作っていただけたらと思う。

会長：非常に難しい問題だと思う。これは丹波市だけの問題ではなく、全国の問題だと思う。再生可能エネルギーを増やさないといけないが、景観も守らないといけない。なかなか悩ましい問題だと思う。こういう課題は今後出てくると思うので、丹波市で条例を作るかも含めて少し考えただければと思う。

委員：ホームページで良くないでしょうと言うだけでは話にならないので、条例化等を含めて検討しますと書くかどうかだと思う。ここに回答を書けない要素もあるが、やり方として風力発電もそうだが、3 年おきに他の会社に変えて申請してくる。そうすると、本当に地域に迷惑しかない。もう 1 つ問題になるのは、ソーラーパネルができると草刈が大変になる。そういった課題もたくさんあるということを回答に、こういう課題や問題があるとか、獣害がたくさん発生しているとか、薬剤の周辺への影響等に懸念の声があるといった言葉を入れると、市として踏み込み過ぎずに書けるのではないかなと思う。これを機会に市独自の考え方、書きっぷりをしっかりして、これをステップに次の政策等に進んでいくことが重要だと思う。いずれにしても、本当に抑制するのであれば、条例化しかないと思う。三田市ではしている。

事務局：私どもとしては、やはり代替エネルギーなので、推進する立場でもある。一方で、景観を保全する立場でもあるので、一番悩ましいところで判断しなければならない。これは、少し研究させていただき、皆さんと相談した後に回答させていただきたい。

会長：今すぐ規制するのは難しいと思うが、方針としては、そういう方向性を見ているということで、ご理解いただければと思う。

委員：アンケートの人数について、nとして書いてあるが、数字が全部違う。何人にアンケートを取ったのかが分からないので、確認いただきたい。

事務局：確認はするが、例えば 29 ページだと、調査で、「あまり満足していない」と回答した人を抜き出して、その下にグラフになっているところもあるので、抜き出している部分の数でズレがある。いずれにしても、抜き出す前の数字がないというところもあるので、それは表を入れるなどしたいと思う。

会長：アンケートの母集団の数について、分かりやすく書けるのであれば書いていただければと思う。

資料 1 の市からいただいた回答に対しては、委員の皆様方からいくつか指摘があり、修正をするところもいくつか出てきた。市の考え方の書き方を少し工夫する必要があるという話もあったが、これについては、私と副会長に一任いただき、事務局と調整、確認して、基本計画の最終案に取りまとめていきたいと思うが、よろしいか。

一 同：異議なし。

会長：3 月には基本計画の最終案が出せるように進めさせていただきたいと思う。

3. その他

- ・事務局より、今後のスケジュールについて説明
- ・議事録署名について、会長より三浦委員を指名

副会長：本日はお忙しい中、ご出席をいただき、ありがとうございました。色々な意見が出まして、より良く考えた方針について、少し分かった気がします。まだコロナが続いていますが、雪国ではないですが、丹波市は早春の花々が今から咲き始めますので、皆さんも近くの野山や里山に行かれたら、色々な花が咲いておりますので、気にしていただければと思います。本日はありがとうございました。

4. 閉会